

活動報告書

2024年度



2024年度を振り返って

日本のスタートアップは、イノベーションエコシステムの成長を促進するために2022年に政府が発表した「スタートアップ育成5か年計画」の流れを受けて2024年を迎えました。

2024年単年で見ると、日本国内では2,800社以上のスタートアップが資金調達を行い、総額7,790億円（約50億米ドル）以上を調達しました。また、日本のスタートアップ企業数は2021年の16,000社から2024年には24,000社へと大幅に増加しました。一方で、世界的な景気減速により、日本を含む世界中のスタートアップは新たな課題に直面しています。

CIC ジャパンデスクは、こうした厳しい状況の中でも前進し続ける日本のイノベーターたちとともに歩みを進めました。

新たな取り組みとして、活動の範囲をペンシルバニア州フィラデルフィアにも拡大し、細胞・遺伝子治療を専門とする日系スタートアップ5社に対して、当分野で世界をリードするフィラデルフィアの再生医療エコシステムに参入する機会を提供しました。現地ではバイオテック起業家、政府関係者、医療従事者など、多くの方々が温かく迎え入れてくださり、5社にとっての新たなグローバル活動拠点が誕生しました。

また、ニューヨークでもプログラムを初実施し、バイオメディカル分野を専門とする起業家志望の学生20名を対象に、ボストン及びニューヨークのイノベーションエコシステムを体験するプログラムを運営しました。日本の次世代を担うグローバル志向の起業家たちの熱意に触れ、私たちも大いに刺激を受けました。

CIC ジャパンデスクは、意欲あふれる日本発のイノベーターたちのさらなる成功を確信し、大きな期待とともに新年度への一步を踏み出そうとしています。

CIC ジャパンデスク ディレクター
Jessy LeClair



MEET THE TEAM

Jessy LeClair

ディレクター

Sayumi Suzuki

プログラムマネジャー

Zachary Metz

プロジェクトアソシエイト

Amelia Devine

業務補佐・アナリスト

Hayley Valk

アシスタントディレクター

Namika Maki

プログラムマネジャー

Yumi Jane Kaplan

プロジェクトアソシエイト

インパクト事例

「アメリカでの起業経験がなく現地のスタートアップの常識が分からない中、CICのメンタリングやマッチングを通じて、Fractional CFO との契約、人材採用の知識習得、法務・知財事務所の紹介など多方面で支援を受けてきました。CIC入居企業の方々とのネットワーキングも大変役立っています。」

TUNING FORK BIO | CEO | 引地 裕一

支援スタートアップのマイルストーン

- **株式会社 Biomy** (Global Acceleration Hub) NEC社との間でデジタルパソロジー領域における解析プラットフォームの開発・拡大に向けた共同マーケティング及び事業提携を行う基本合意書を締結
- **Heartseed 株式会社** (JETRO Innovation Program 2020) iPS細胞由来の心筋細胞を心筋組織内に移植する心筋補填療法を確立、東京証券取引所グロース市場へ新規上場
- **京都フュージョニアリング株式会社** (J-StarX Cleantech 2023, Global Acceleration Hub) 米国エネルギー省 (DOE) 2024年度イノベーションネットワーク補助金プログラム "INFUSE" に採択
- **株式会社 MUSE** (J-StarX Boston Robotics Program 2024, Global Acceleration Hub) 世界最大級の複合フェスティバルSXSW (サウス・バイ・サウスウエスト) にて小売店舗向けストアロボットについてピッチを実施、日本企業として初の選出



スタートアップ
60社



学生
230名



企業
28社



アクセラレータープログラム

CIC ジャパンデスクは日本の政府関係機関と連携し、アーリーステージにある日系スタートアップ企業や起業家志望の学生に向けて、米国でビジネスを展開するための知識やスキル、ネットワークの獲得を目指したアクセラレータープログラムを提供しました。参加者は日本での研修後現地を訪問し、実践的なワークショップ、専門家によるメンタリング、ビジネスマッチング、デモデイなどを通じて事業展開を進めました。また今年度はプログラムの実施地域がフィラデルフィア及びニューヨークへと広がり、米国東海岸の活気あるイノベーションエコシステムとの繋がりが拡充しました。

主なプログラム：

- J-StarX Boston Robotics Program
- J-StarX Biomedical Student Entrepreneurship Program
- JETRO Global Acceleration Hub
- Direct Flight Philadelphia powered by MEDISO



施設訪問
19件



ビジネスマッチング
38件

メンタリング
267時間



招請した専門家
141名



セミナー・ワークショップ
47件



ネットワーキングイベント

DEMO DAYS

Venture Café Cambridge 及び Venture Café Philadelphia と提携し、3件のデモデイを開催しました。参加スタートアップはピッチやポスターセッションを通じてイノベティブな技術や製品を紹介し、現地のエコシステムにおける潜在顧客や協業者数百人と繋がる機会を得ました。

FRIENDLY NETWORKING

今年度は、ボストンの多様な日本・日系企業関係者が集い交流を深めるイベント「The Roaming Nomikai」を四半期ごとに開催し、カジュアルなネットワーキングイベントの機会をさらに充実させました。また、CIC入居者同士のコミュニティ形成の場として毎月開催しているランチ会「Bring Your Own Bento」は過去最多の参加者を記録し、引き続き好評を博しました。

COMMUNITY APPRECIATION

ジャパндеスクの専門家ネットワークを一堂に集め、2度目となる「Summer Bash」を開催しました。このイベントを通じて、過去1年間にわたり日本のイノベーターを支えてくださった皆様のご協力と温かい支援に感謝の意を表しました。

イベント
25件



参加者
1,313名

「ジャパндеスクのイベントに参加することで、異業種の方々との交流が広がり、ネットワークが拡大していると感じています。また、日本からボストンに来られるスタートアップや学生の方々とお話しする機会も多く、新たなビジネスのアイデアを得る貴重な場となっています。ジャパндеスクの皆さまの温かいサポートに心より感謝いたします。」

イノベーション・リンク

ボストン都市圏への窓口として、日系企業、学術機関、政府関係機関からの代表団に対し、現地のイノベーションエコシステムの情報の紹介や交流の機会を提供しました。



企業のお客様向け

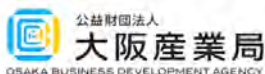
日系企業・スタートアップがボストン進出の足がかりを築けるよう、プレゼンテーションや専門家ミーティング等のプログラムを通じて、新たなビジネス機会の探索及び現地のステークホルダーとのネットワーキングの場を提供しました。



教育機関のお客様向け

大学、高校、その他の教育機関と連携し、次世代の起業家を育成するためのインタラクティブなワークショップを提供しました。学生たちはボストンのエコシステムについて理解を深め、現地の起業家の指導のもと、起業に必要なスキルやマインドセットを実践的に学びました。

協賛企業（一部）



東京都立国立高等学校
Tokyo Metropolitan Kunitachi
Senior High School

CIC キャンパスのコミュニティづくり

CIC の日系入居企業に対してバイリンガルサポートやコミュニティイベントを提供し、カスタマイズされた市場調査支援やネットワーキング支援を通じて、日系企業がボストンに拠点を持つ意義を最大化できるようサポートしました。また、好評の月例ランチ会「Bring Your Own Bento」や、CIC イベント Weekly Wakeup における特別企画・おにぎり回など、定期的にイベントを開催しました。



日系入居企業
(ボストン・ケンブリッジ)

51社



ご協力ありがとうございました

2024年度のプログラムにご協力いただいたパートナー、メンター、講演者、そして様々な形で支えてくださった皆様に対し、CIC ジャパンデスクより心から感謝申し上げます。スタートアップエコシステムやイノベーションに対する皆様の熱い想いとご尽力が、CIC ジャパンデスクのプログラムの成功と起業家支援の原動力となっています。2025年度も引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます！



ウェブサイト:

cic.com/japandesk

お問い合わせ:

japandesk@cic.com